

2018.06.19 原田作成 06.20 修正

## 第34回水郷水都全国会議霞ヶ浦大会 第1回準備会 議事録

日時：2018年6月16日(土)10:20-12:15

場所：霞ヶ浦環境科学センター 2F 会議室

出席者：荒井 一美、菊地 章雄、宮本 一美、額賀 勝男、栗又 衛、原田 泰

議題：

- (1) 報告
- (2) 協議

荒井準備会代表より、3月16日第2回準備会の結果に基づいて本日4月20日の会合を実行委員会として開催することが宣言された。

(報告事項)

### 1. 今大会の概要

荒井より開催概要案にもとづいて、今大会の概要について説明がなされた。

### 1. 開催趣旨

- ・水郷水都のこれまでの振り返りと今後の活動方針を決めるターニングポイントである。
- ・世界湖沼会議から生まれた市民の運動であり、成果を世界湖沼会議に示し、市民の視点を取り入れるように働きかける。

### 2. メインテーマ

「これでいいのか水郷水都全国会議・河童はパワーアップできるのか」

### 3. 開催期日

10月13日(土)見学会、懇親会、全国実行委員会

10月14日(日)全体会、ポスターセッション、大会宣言採択

### 4. 開催場所

筑波大学、階段教室

### 5. 連絡先

〒311-3505 茨城県行方市市浜 370-1 (株)A1 建築事務所内

TEL:0299-55-0321, FAX:0299-55-0351

email:34suigousuito@k-academy.sakura.ne.jp(準備中)

### 6. 主催

第34回水郷水都全国会議霞ヶ浦大会実行委員会

### 7. 後援(予定)

茨城県、行方市、潮来市、鹿嶋市、銚田市、小美玉市、かすみがうら市、土浦市、つくば市、牛久市、阿見町、美浦村、稲敷市、霞ヶ浦漁業協同組合、玉造ロータリークラブ

### 8. 関連イベント

第37回横浜縦断カヌーフェスティバル(2018年10月21日(日))

### 2. プログラム案

菊地よりプログラム(案)に基づいて、プログラムについて説明がなされた。

10月13日(土)

13:00 土浦駅出発 (マイクロバス2台, 50人程度)

16:30 土浦駅着

A案: 湖沼会議土浦サテライトの見学 (L' AUBE, 土浦港, アルカス土浦など)

B案: サテライト見学のあと, かすみがうら市郷土歴史資料館(昼食)ー高須崎の一本松ー植生帯復元ー白菊酒造

18:00 懇親会(土浦市内, 場所未定)

20:00 全国実行委員会

10月14日(日) 筑波大学

10:00 全体会、あいさつ、基調講演1(浜田)、現地からの報告、昼食、記念講演1(保母) 記念講演2(浅野)、各地からの報告、

15:00 閉会

以上の報告を受けて質疑を行った。

(1) メインテーマ

内向き過ぎるのではないか、全国から参加したくなる呼びかけが望ましいとの意見が出された。これを受けて、再度検討することとなった。

(2) 全体会開催場所

筑波大学のどこか。費用はいくらか。分科会は可能か。ポスター展示箇所はどこか。書籍販売などできるのか、との質問が出された。これについて、次のような回答がなされた。

場所の詳細はあとで連絡する。1時間10000円なので6時間(9:30~15:30)とした。別途駐車場料金(1台500円)がかかる。階段教室ひとつで分科会はできない。ポスター展示の場所はなさそうだ。販売できるかどうか確認する。仮予約である。

これを受けて、別の会場の可能性を探った方がよいとの意見が出された。

(3) 事務局連絡先

事務局メールアドレスについて原田より補足説明がなされた。

事務局専用メールアドレスの設置を準備している。受取人(複数可)を誰にするか決めてほしい。これに対して実行委員全員あるいは事務局メンバーだが、当面全員にすることが決まった。

(4) 振込口座

郵便振替口座が望ましいとの意見があり、霞ヶ浦アカデミーのものを使用することにした。銀行口座は2013年に開設した常陽銀行の口座が残っているのでこれを使用する。

(5) 後援

横浜では地元新聞社に後援を依頼した。大手マスコミは一つ入ると他社が敬遠する。

(6) 10月14日見学会

見学会については今後更に検討することとした。

(7) 10月15日本会議

以下の意見が出された。今回の大会は水郷水都運動の総括と今後の方向性を探ることと世界湖沼会議との関連の検討がテーマなので、それに沿った内容が望ましい。運動の議論と各地からの報告は別の分科会にした方がよい。時間が短いのではないか。

これらの意見を受けて会場変更の可能性を含めて早急に検討することとした。

(協議事項)

1. 役割分担

本日の会議は準備会として、実行委員をさらに募って7月に第1回実行委員会を開催することとし、実行委員長以下の役員配置と役割分担はメール等で協議して第1回実行委員会で決定することとした。

今回出席した6名(荒井一美, 宮本一美, 菊地章雄, 額賀勝男, 栗又衛, 原田泰)は実行委員となる。実行委員として前回依頼した方々を中心に以下の方々に打診する。中田秀雄, 岩崎惇子, 奥井登美子, 柏村忠志, 森保文, 市川紀行, 岩波嶺雄, 石田幸彦

2. 大会までのスケジュール

原田より前回(2013年, 第29回)の資料をもとに, 前回の状況から想定されるスケジュールの説明がなされた。

- ・7月15日頃 第1回実行委員会 (メインテーマ確定, 開催趣旨・プログラム概要確定, 見学会概要確定, 役員と事務局体制・役割分担確定, 会場確定, 予算確定, 資金計画など)
- ・8月10日頃 第2回実行委員会 (開催要領確定, 大会資料準備開始, 見学会詳細検討開始, 分科会概要確定, 大会宣言検討開始, 懇親会担当確定, 会場予約開始, 寄付依頼)
- ・開催要領, 参加申込書印刷, 完成したら送付, 参加申込み開始
- ・8月末 大会資料原稿依頼, 分科会報告募集
- ・9月10日頃(約1ヶ月前) 第3回実行委員会 原稿締切, 編集開始
- ・大会資料印刷依頼
- ・10月5日頃(10日前) 第4回実行委員会 (大会資料完成, 見学会資料完成, 交流会参加人数確認)
- ・10月13日(土)見学会, 交流会, 全国実行委員会
- ・10月14日(土)全体会, 分科会, 大会宣言採択
- ・10月15日(月)第17回世界湖沼会議開会 (つくば国際会議場)
- ・10月16日(火)18:00-20:00 ワークショップ「水辺の環境と社会を衛市民の活動に関する情報とアイデアを交換しましょう」
- ・11月15日頃 第5回実行委員会 まとめ, 会計整理

(その他)

1. 横浜縦断カヌーフェスティバル

宮本より資料に基づいて第37回横浜縦断カヌーフェスティバルの説明がなされた。

このイベントは37年前に始まり, 実行委員会を組織して毎年実施されている。今年は水郷水都霞ヶ浦大会の1週間後の10月21日(土)に開催される。お互いに関連イベントとして位置づけられ, 資料などに掲載したい。

この説明を受けて, 協力することを確認した。

2. 次回

次回は第1回実行委員会とし, 7月15日(日)を予定する。場所として土浦の奥井薬局図書室が使えないか奥井さんに依頼する。(荒井が行う)。

(以上)